

諏訪之瀬島の火山活動 - 2014 年 2 月 ~ 4 月 - *

Volcanic Activity of Suwanosejima Volcano

- February 2014 – April 2014 -

鹿児島地方気象台
福岡管区気象台 火山監視・情報センター
Kagoshima Local Meteorological Office, JMA
Fukuoka Regional Headquarters, JMA

・噴煙などの表面現象の状況（第 1 図、第 3 図- ）

御岳火口では、爆発的噴火が 2 月に 7 回、3 月に 1 回、4 月に 2 回発生した。爆発的噴火に伴う空振の最大振幅は、2 月 11 日 19 時 14 分に観測した 31Pa であった（火口から南南西約 4 km の榑戸原観測点による）。また、ごく小規模な噴火が時々発生した。

噴煙の高さ²⁾の最高は、火口縁上 1,000m であった。また、同火口では夜間に高感度カメラで火映を時々観測した。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、期間中、時々集落（御岳の南南西約 4 km）で降灰が確認された。

・地震や微動の発生状況（第 3 図- ~ ~ 、第 4 図 ~ 6 図）

諏訪之瀬島周辺を震源とする A 型地震は、2 月は 51 回、3 月は 84 回、4 月は 43 回とやや多い状態であった。B 型地震は、2 月に 107 回、3 月に 40 回、4 月に 108 回とやや減少した。

火山性微動は、断続的に発生した。

・地殻変動の状況（第 2 図、第 7 図、第 8 図）

傾斜計及び GNSS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

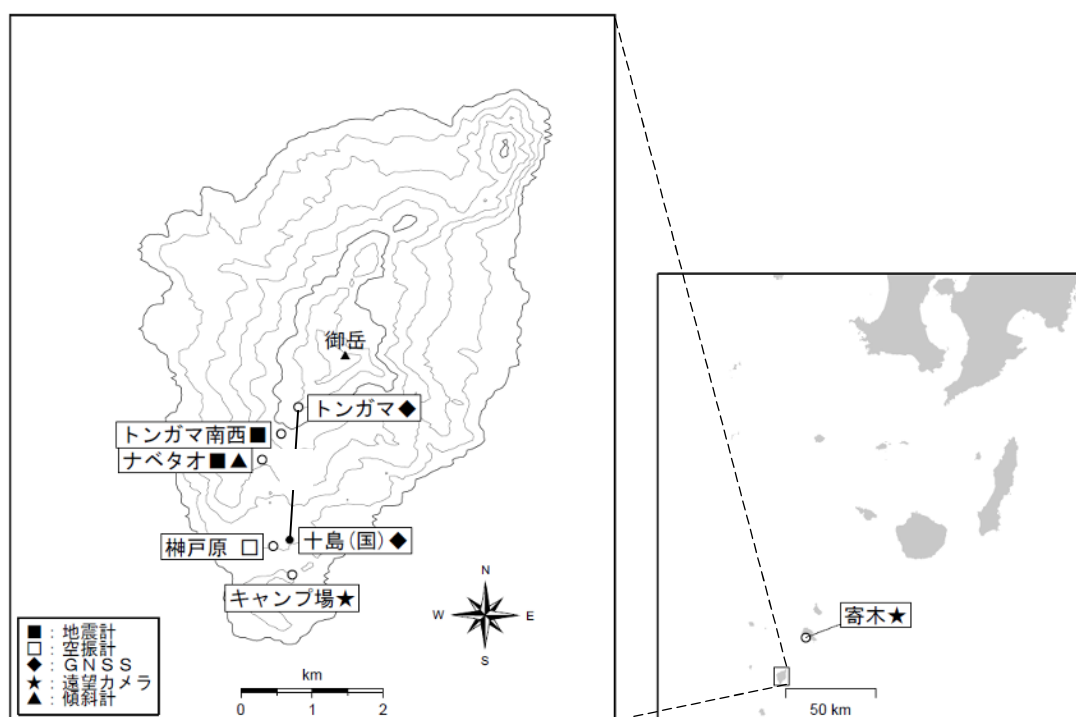
1) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。

2) 2003 年 3 月 28 日以降、噴煙の最高高度は監視カメラによる観測値と十島村役場諏訪之瀬島出張所の報告値のうち高い値を用いている。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータを利用し作成した。



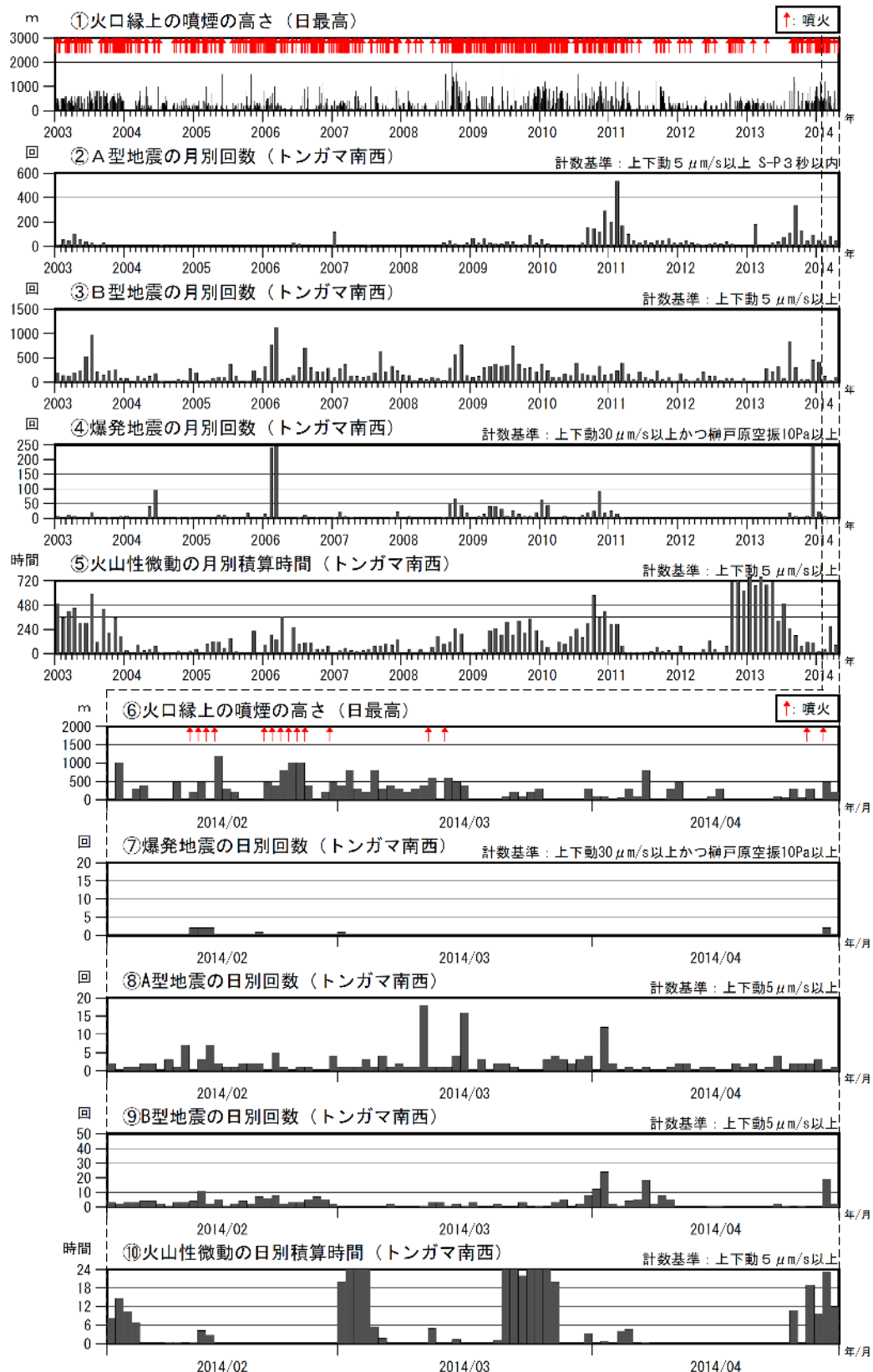
第 1 図 諏訪之瀬島 噴火の状況 (4 月 7 日、キャンプ場遠望カメラによる)
Fig.1 Visible image of Suwanosejima on April 7, 2014.



第 2 図 諏訪之瀬島 観測点配置図
Fig.2 Location map of permanent observation sites in Suwanosejima.

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示す。
(国) : 国土地理院

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用した。

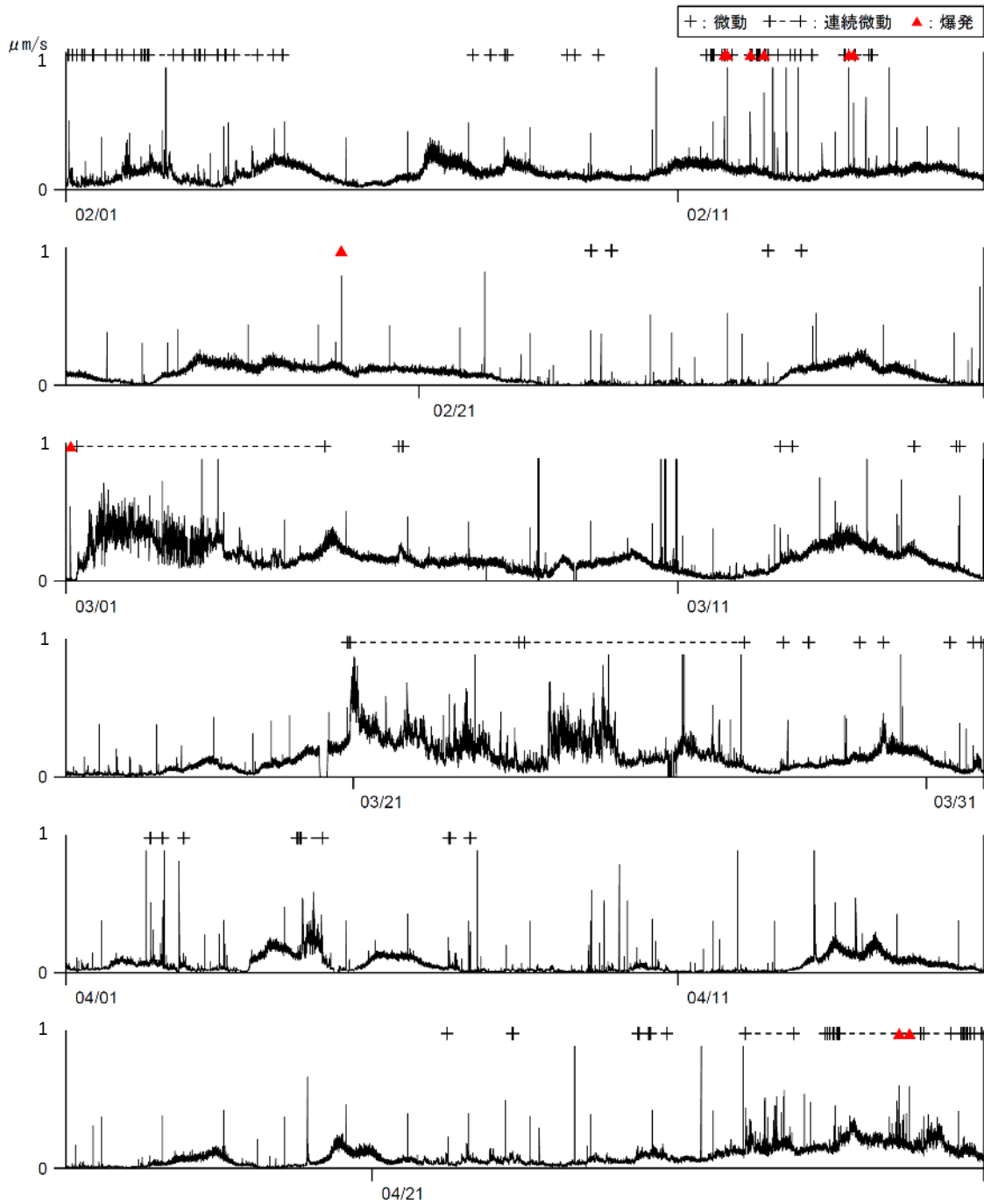


第3図 諏訪之瀬島 火山活動経過図（2003年1月～2014年4月）

Fig.3 Volcanic activity in Suwanosejima (January 1, 2013 – April 30, 2014).

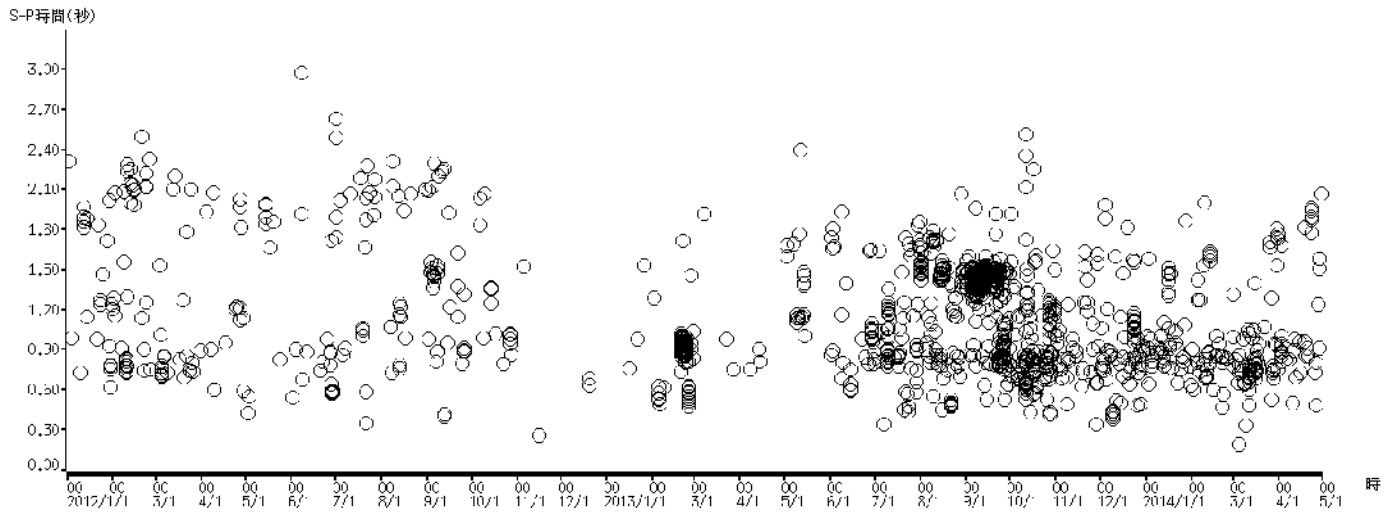
<2014年2月～4月の状況>

- ・爆発的噴火が2月に7回、3月に1回、4月に2回発生した。
- ・噴煙の最高高度は1,000mであった。
- ・諏訪之瀬島周辺を震源とするA型地震は、2月は51回、3月は84回、4月は43回とやや多い状態であった。
- ・B型地震は、2月に107回、3月に40回、4月に108回とやや減少した。
- ・火山性微動は、断続的に発生した。



第 4 図 諏訪之瀬島 1 分間平均振幅の時間変化 (ナベタオ上下成分) (2014 年 2 月 ~ 4 月)
Fig.4 Variation of mean amplitude for one minute (February 1, 2014 – April 30, 2014).

<2014 年 2 月 ~ 4 月の状況>
火山性微動は、断続的に発生した。

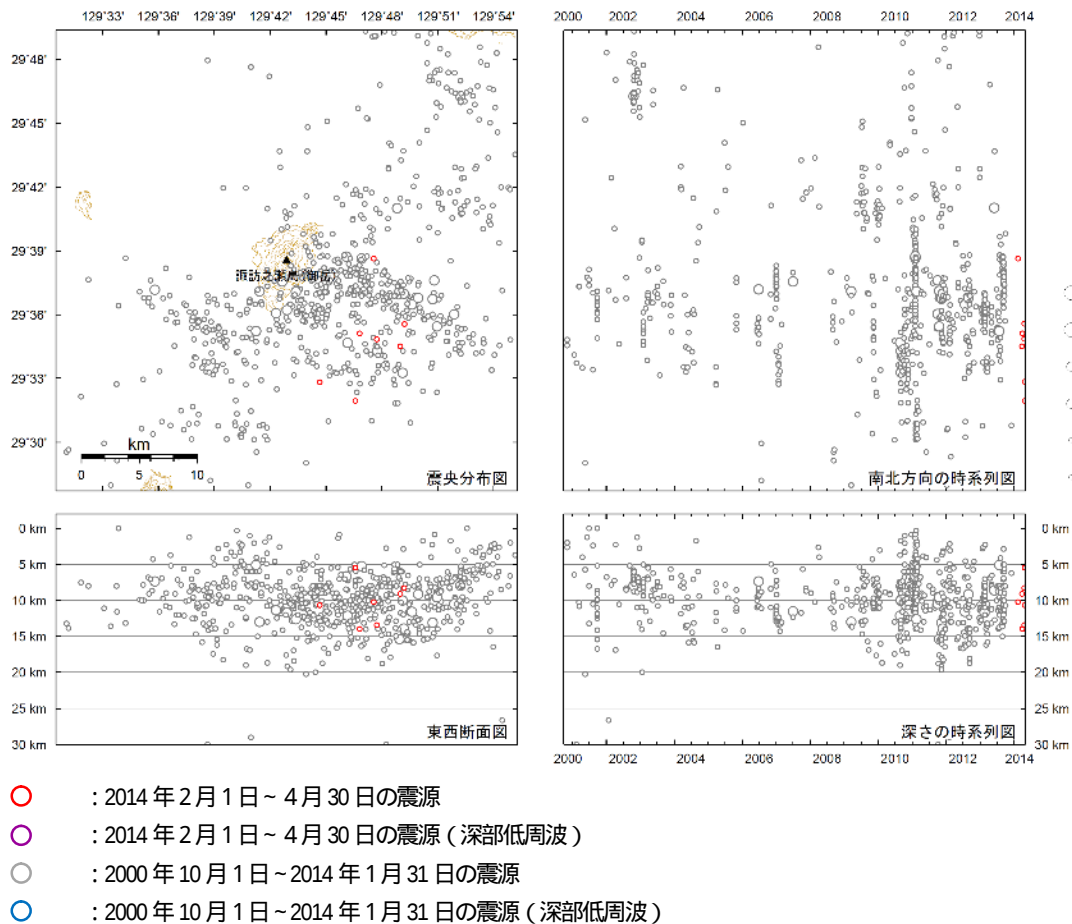


第5図 諏訪之瀬島 A型地震のS-P時間(秒)時系列 (2012年1月～2014年4月、ナベタオ観測点)

Fig.5 Variation of S-P time in A type earthquake (January 1, 2012 – April 30, 2014).

<2014年2月～4月の状況>

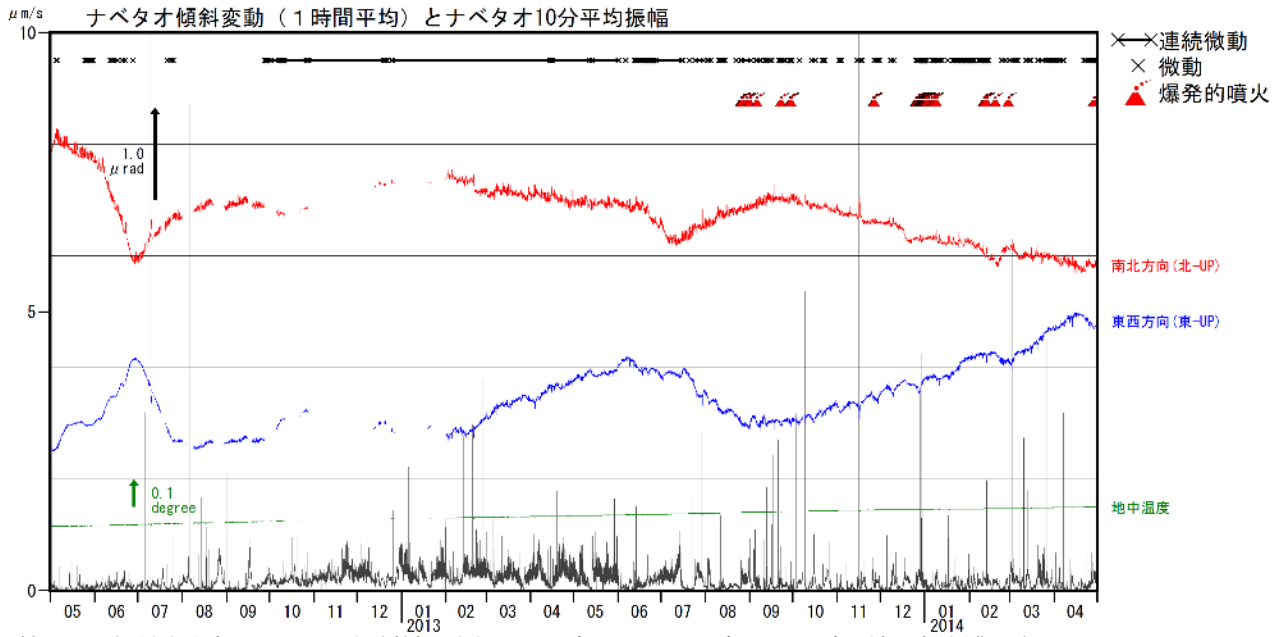
これまでと大きな違いは認められなかった。



第6図 諏訪之瀬島 一元化震源による震源分布図 (2000年10月1日～2014年4月30日)

Fig.6 Hypocenter distribution in and around Suwanosejima (October 1, 2000 – April 30, 2014).

この地図の作成には、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ (標高)』を使用した。



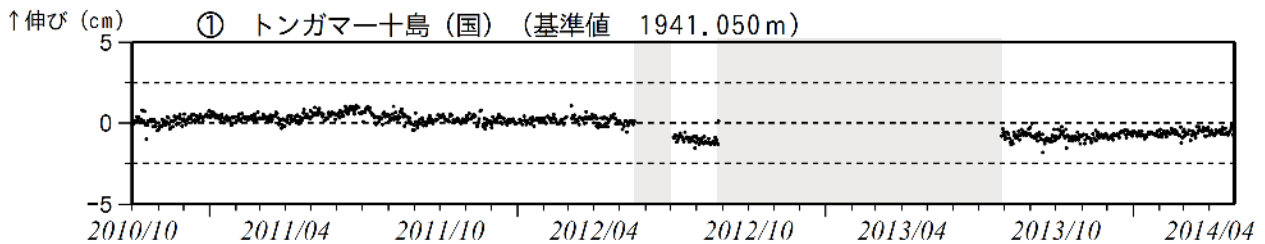
第 7 図 諏訪之瀬島 ナベタオ傾斜計の変化 (2012 年 5 月～2014 年 4 月、時間値、潮汐補正済)

Fig.7 Tilt change at Nabetao station(May 1, 2012 – April 30, 2014).

<2014 年 2 月～4 月の状況>

火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

グラフの空白期間は欠測を示す。



第 8 図 諏訪之瀬島 GNSS連続観測による基線長変化 (2010 年 10 月～2014 年 4 月)

Fig.8 Baseline length changes by continuous GNSS analysis (October 1, 2010 – April 30, 2014).

火山活動によると考えられる変化は認められなかった。

この基線は第 2 図の に対応している。

灰色の部分はトンガマ GNSS 観測点の機器障害のため欠測を示している。